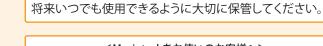
Call 011 Satera LBP 9100C 最初にお読みください。

かんたん設置ガイド

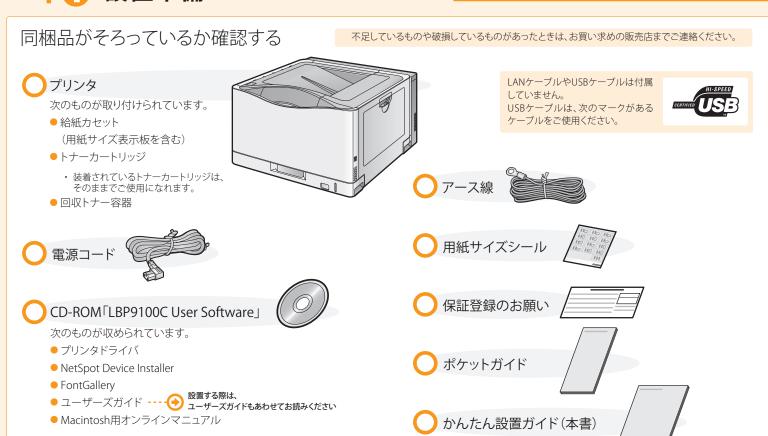
タの設置を安全に行なうための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただく ために」に記載されています。

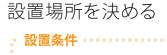
● P.8 設置を始める前によくお読みください。



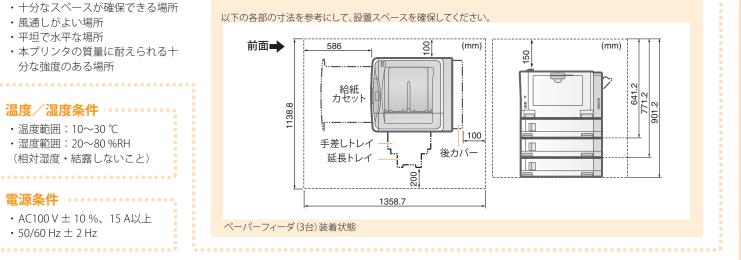
で使用前に必ず本書をお読みください。

<Macintoshをお使いのお客様へ> 本書では、Windowsを例に説明しています。Macintosh用のプリンタドライバやユーティリティの使いかたについては、「オンラインマニュアル」(HTMLマニュアル)を参照してく ださい。また、プリンタの取り扱いやメンテナンス方法などについては、「ユーザーズガイ ド」(HTMLマニュアル)を参照してください。



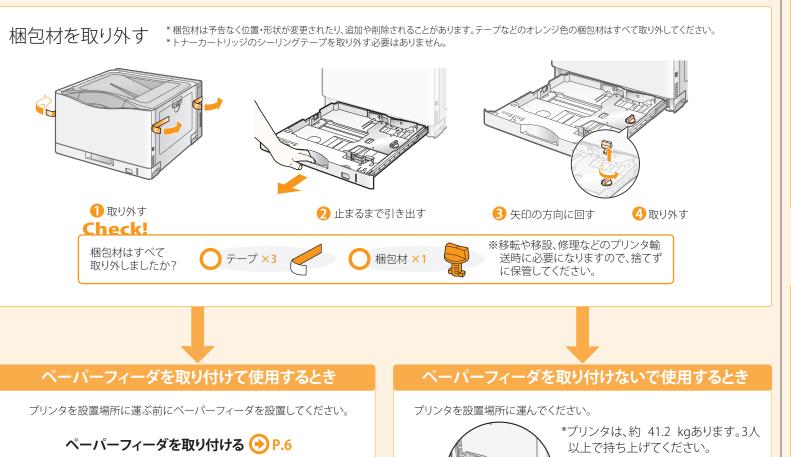


- ・風通しがよい場所 ・ 平坦で水平な場所
- 温度/湿度条件|
- ・AC100 V ± 10 %、15 A以上 • 50/60 Hz \pm 2 Hz



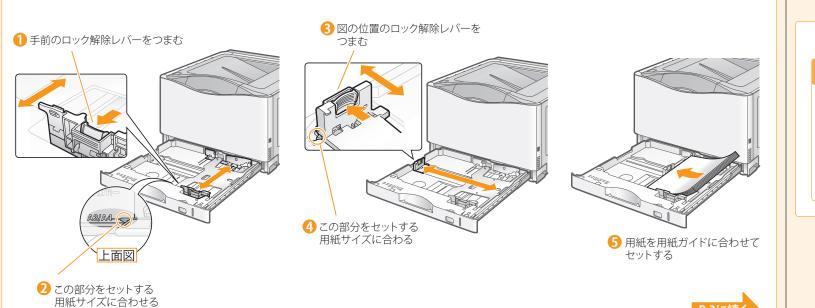
PRINTED IN JAPAN

Step / 梱包材を取り外して、設置場所に運ぶ



Step6で、動作の確認のためプリンタステータスプリントを印刷します。 プリンタステータスプリントはA4サイズ用に設定されていますので、ここでは、 A4サイズの用紙をセットしてください。

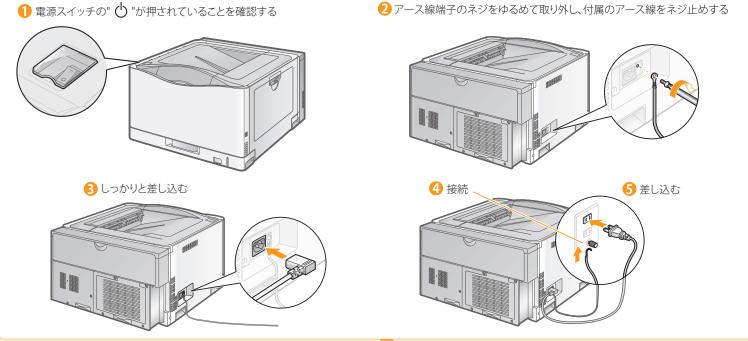
P.3に続く



左右の取っ手に

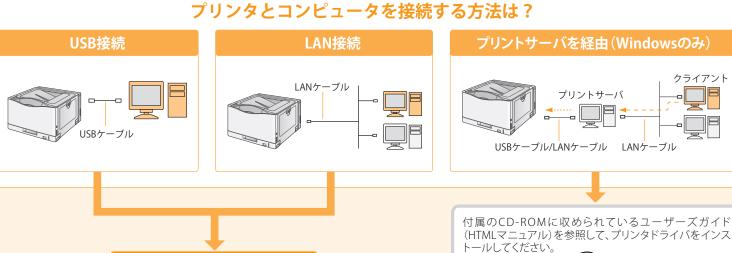
手を掛けて運ぶ





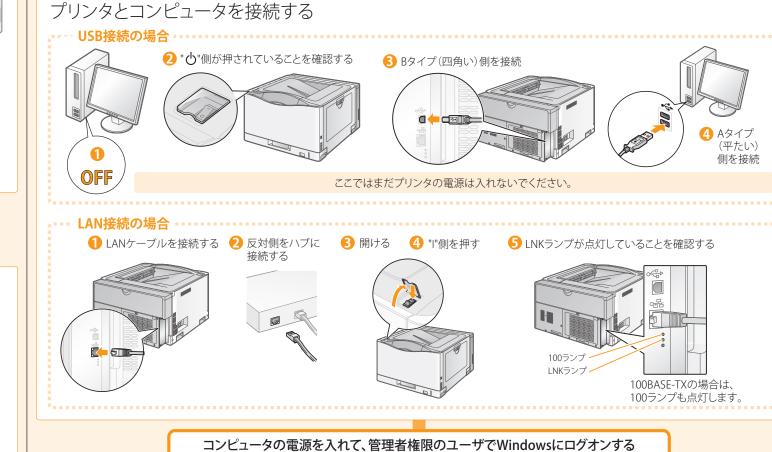
続いて、プリンタドライバをインストールします

LBP9100C User Software



Step5 № P.4

Step 3 プリンタドライバをインストールする



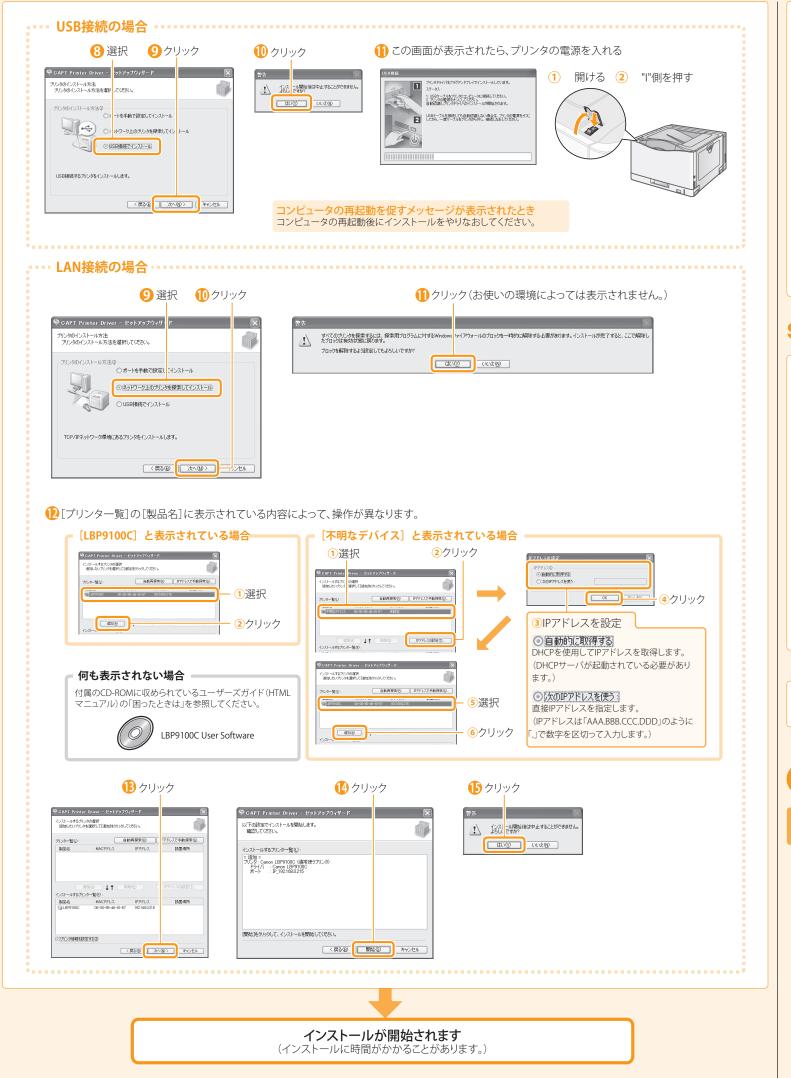
※ Macintoshをお使いの場合は、「オンラインマニュアル」(HTMLマニュアル)を参照してく







4





LANケーブル 接続の有無は、お使いの

⊕ P.7

1 電源プラグを抜く 2 アース線を取り外す

3 プリンタから抜く 4 プリンタから取り外す

 \bigcirc プリンタドライバをインストールする \bigcirc P.4 4 プリンタの動作を確認する → P.6

フィーダにも用紙をセットしてください。

② 電源コードとアース線を接続する → P.3

① 用紙をセットする → P.2

1 ペーパーフィーダを

梱包材はすべて取り外しましたか?

9 設置場所に運ぶ

取っ手に手を掛ける

を合わせて載せる

*2人以上で運びます。

ペーパーフィーダ同士も

同様に固定してください。

プリンタ本体に標準の給紙力セットの手順を参考に、ペーパー

箱から取り出す

2 取り外す

⑥ 取り外す

セットする

手を掛けて運ぶ

① 用紙をセットする◆ P.2 プリンタ本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパー フィーダにも用紙をセットしてください。

引き出す

続いて、次の手順にそって作業を進めます

🔒 止まるまで引き出す

ペーパーフィーダを複数台取り付けるときは

手順1~10を繰り返し てください。1台のみ取

り付ける場合は手順

● 位置決めピンと

せて載せる

コネクタを合わ

11に進みます。

77 ここをつまんで取り外す

4 取り外す

8 カセットをセットする

※移転や移設、修理などのプリンタ輸

1 プリンタを運ぶ

送時に必要になりますので、捨てず

*プリンタは、約 41.2 kgあります。3人

図の位置に合わ

ペーパーフィーダ同士も同様に

以上で持ち上げてください。

グケーブルやコードを接続する 取り外したケーブルやコードを接続しなおしてください。

本書では設置と電源の警告や注意のみを記載しております。必ず付属 のCD-ROMに収められているユーザーズガイド(HTMLマニュアル)で 記載されている「安全にお使いいただくために」もあわせてお読みくだ



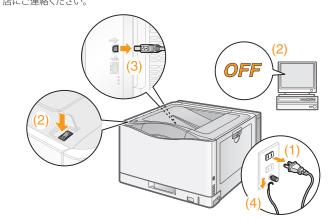
▲ **藝**井 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全 に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

▲ 警告

アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が 製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。 製品の上に次のような物を置かないでください。

設置について

- アクセサリーなどの金属物
- ・ コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器
- これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。 これらが製品内部に入った場合は、直ちにプリンタの電源プラグを抜いてから(1)、プ リンタとコンピュータの電源をオフにし(2)、USBケーブルを接続している場合は、USB
- ケーブルを抜いてください(3)。そのあと、アース線を取り外し(4)、お買い求めの販売 店にご連絡ください。



▲ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しない でください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。ま たベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気 口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることが あります。
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 雨や雪が降りかかるような場所
- ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温になる場所
- 火気に近い場所 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、 ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがありま
- インタフェースケーブルを接続する場合は、ユーザーズガイドの指示にしたがって
- 正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になること
- 製品を持ち運ぶ場合は、ユーザーズガイドの指示にしたがって正しく持ってくださ い。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。

▲ 警告

・ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置 いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、 火災や感電の原因になります。 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の

電源について

- 原因になります。 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込 まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。 アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感
- 電の原因になります。



- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
- [アース線を接続してもよいもの]
- 電源コンセントのアース線端子
- ・ 接地工事(D種)が行われているアース線端子
- [アース線を接続してはいけないもの]
- 水道管・・・配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアー スの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管に はアース線を接続できます。
- ガス管・・・ガス爆発や火災の原因になります。
- 電話線のアースや避雷針・・・・落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因に なります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず 延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点 に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
- ・ 延長コードに延長コードの接続はしないでください。
- 製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘板ラベル(製品左
- 側面に記載) に明示されている電圧になっているかを確認してください。 ・ 延長コードは定格銘板ラベル(製品左側面に記載)に明示されている製品に必要な
- 電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
- 使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで 電源プラグを差し込んでください。
- ・ 延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってく
- ださい。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜い て行ってください。

▲ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることが
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、 電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災 や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。 非常時に電源プラグが抜けなくなります。

Canon、Canonロゴ、LBP、NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。 FontGalleryは、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。 Apple、Macintoshは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。 Microsoft、Windows、Windows VistaおよびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です

略称について

各ソフトウェアの名称は、次の略称で記載しています。 Microsoft Windows 2000 operating system: Microsoft Windows XP operating system: •Microsoft Windows Vista operating system: Microsoft Windows 7 operating system: ·Microsoft Windows Server 2003 operating system:

Microsoft Windows operating system:

Windows Vista Windows 7 Windows Server 2003 Microsoft Windows Server 2008 operating system: Windows Server 2008

Windows XP

米国およびその他の国における登録商標または商標です。